

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	小竹 由太	学校名	北海道音更高等学校
教科（科目）・領域	外国語（英語） コミュニケーション英語Ⅱ	対象学年（人数）	2年生 （1～4組 計151名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年3月 2年1組 ①3月18日（月）1校時 ②3月20日（水）1校時 2年2組 ①3月15日（金）1校時 ②3月19日（火）1校時 2年3組 ①3月15日（金）3校時 ②3月18日（月）3校時 2年4組 ①3月15日（金）2校時 ②3月15日（金）5校時		


【実施概要】

1. 単元名(活動名) : The Only Solution Left to Us Is SDGs -from Otofuke to Sri Lanka-					
2. 実施する教科・領域： コミュニケーション英語Ⅱ 1 目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの身のまわりにある、地球上の課題を認識することができる。 ・「持続可能な開発目標（SDGs）」とその必要性について、理解することができる。 ・スリランカと北海道の例を元に、SDGsが世界共通の目標であることを理解し、それらが日常生活とどのように結びついているかを考えることができる。 					
5. 単元の評価規準	①知識及び技能	「持続可能な開発目標（SDGs）」について、各目標を英語で理解することができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	「持続可能な開発目標（SDGs）」の必要性について考えることができる。また、それらが日常生活とどのように結びついているかを考えることができる。			
	③学びに向かう力、人間性等	スリランカと北海道の例を元に、SDGsが世界共通の目標であることを理解することができる。			


<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p>【単元設定の理由】 コミュニケーション英語Ⅱの科目の中で、Malala Yousafzai さんの平和や人権に関わるスピーチや地球上の諸問題について取り扱った。また、スリランカ現地研修等を通じて、SDGs 自体やそれに関わる事柄を学んでいく中で、スリランカと北海道の双方に共通する課題があることが見えてきた。これらの要素を統合し、両国間の例を元に SDGs が世界共通の目標であることを理解させ、自分たちの日常生活とどのように結びついているのかを考えさせたいと思い、設定した。</p> <p>【単元の意義】 前単元で、地球上には様々な課題があることを学んだ。それらの知識を土台として、本単元では、その諸課題を解決するための「持続可能な開発目標 (SDGs)」があることを、前単元とのつながりを意識して学ぶことができる。また、スリランカと北海道の例を学ぶことで、地球上の諸課題は国を問わず共通していることや、日常生活にもSDGsに関わる事柄があることを理解することができる。</p> <p>【児童/生徒観】 普段は習熟度別授業を展開しているため、生徒たちは自然クラスでコミュニケーション英語Ⅱを受ける機会がほとんどない。集団の中に、様々なレベルの英語学習者が混在することになるが、グループワーク等を中心に展開することにより、教え合い・学び合いの姿勢を発揮してくれることを期待する。また、教科書の単元等で取り扱われる諸外国のテーマについては、一定数の生徒が強い興味・関心を抱いており、学習意欲が高い。本単元を通して、前単元で学んだ内容を深化させたい。一方で、英語を用いて自分の考え表現することについては、多くの生徒が未だに不安を抱えているため、教師側の適切な補助が欠かせない。</p> <p>【指導観】 高校2年生の3月は、希望の進路に向けて本格的に準備を始める時期でもある。翌年には高校を卒業し、新たな環境に飛び込む高校生に、広い視野で物事を見て、多角的に考える力を身に付けて欲しい。教科内容の取り扱いの中にも、「広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと」に留意することになっている。そこから、今回の単元がその導入を担うものと考えている。</p>
--	--

7. 単元計画 (全 2 時間)

※全体の総時間数は適宜変更してください。

時	ねらい	学習活動	資料など ※: JICA リソース活用はここに記載
1/2	<p>・前単元で学習した内容を振り返り、地球上の諸課題を再認識する。</p> <p>・「持続可能な開発目標 (SDGs)」と、そのアイコンについて英語で理解する。</p> <p>(SDGs Matching Cards 例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>1 NO POVERTY</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>No poverty</p> </div> </div>	<p>・教科書 Lesson 9 より、地球上の諸課題 (人口、食糧、水など) や Lesson 10 より Malala Yousafzai さんのスピーチなどの内容を、スライドを用いて、キーワードで確認する。</p> <p>・地球上の諸課題を解決するために、SDGs という目標があることを知る。</p> <p>・外務省作成のムービークリップを視聴する。 (“SDGs NOW!” & “PPAP”)</p> <p>・グループで SDGs Matching Cards を用いながら、アイコンとそのキーワードをマッチングする。</p> <p>・教師の解説を通して、キーワードの意味や発音を確認する。</p>	<p>パワーポイント</p> <p>パワーポイント</p> <p>ムービークリップ</p> <p>マッチングカード</p> <p>パワーポイント</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・神経衰弱の要領で、アイコンとキーワードを結びつける。 ・ハンドアウトにそれぞれのアイコンに対応するキーワードを記入する。 ・自己評価をする。 	<p>マッチングカード</p> <p>ハンドアウト</p>
2/2	<p>・「持続可能な開発目標（SDGs）」について、理解を深める。</p> <p>・「持続可能な開発目標（SDGs）」がどういった場面に関わるのかを認識する。</p> <p>・スリランカと北海道の例を元に、自分たちの日常生活との結びつきを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の諸課題と SDGs の結びつきを振り返る。 ・SDGs のアイコンとキーワードを復習する。（No.6・7・8・12・16を使用） ・5種類のアイコンカードを配布し、カルタの要領で活動のウォームアップを行う。 ・各グループにスリランカの写真（5枚）を配布し、カルタで使ったアイコンカードとマッチングをする。 ・写真毎にどのアイコンカードを選んだのかを全体でシェアしながら、スリランカでの SDGs に関わる活動についての紹介を聞く。 ※上記の内容を、北海道の写真（5枚）でも同様に行う。 ・全17個のアイコンから1つを選び、自分ができていることを英語で表現する。 ・個人で考えた後に、グループ内でシェアする。（時間があれば全体でもシェアする） ・自己評価をし、感想を記入する。 	<p>パワーポイント</p> <p>アイコンカード</p> <p>スリランカの写真 北海道の写真</p> <p>ハンドアウト</p>

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動 “”内…教師の発問 / ()内…想定される生徒の反応等	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入① (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 本時の目標を確認させる。</p> <p>“There are two goals for today’s class.”</p> <ul style="list-style-type: none"> • To recognize global problems surrounding us • To understand Sustainable Development Goals and their necessity <p>(本時の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> • To get to know that we have common SDGs between Hokkaido and Sri Lanka • To connect SDGs with daily life </div>	スライドの提示	パワーポイント
導入② (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. 前時の学習内容を確認させる。</p> <p>“Let’s review what we have learned before.”</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地球上の諸課題には何があったか、キーワードを英語で答えさせる。 <p>(Population, food demand, water etc.)</p> <ul style="list-style-type: none"> • それらの課題を解決するためにある目標を英語で答えさせる。 <p>(SDGs: Sustainable Development Goals)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本時で取り扱う 5 種類のアイコンのキーワードを英語で答えさせる。 <p>No.6 (water), No.7 (energy), No.8 (Economy), No.12 (consumption), No.16 (peace)</p> </div>	スライドの提示 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	パワーポイント
展開① (15分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3. カルタでウォームアップをさせる。</p> <p>“Let’s review about SDGs icons with karuta as warm-up.”</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各グループに上記 5 種類のアイコンカードを配布し、カルタに取り組みさせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>4. 写真を用いて、SDGs がスリランカのどのような場面に関わるのかを考えさせる。</p> <p>“Now we’re going to learn how SDGs connect with the world. Let’s think about Sri Lanka.”</p> <ul style="list-style-type: none"> • スリランカの簡単な国紹介を英語で行う。 <p>※地理的な情報等を取り扱う</p> </div>	4人1グループを作るように指示する。また、カルタの読み手は教師が行う。 スライドの提示	SDGs cards

・スリランカの写真（5枚）と、カルタで使ったアイコンカードとマッチングさせる。その後、写真裏面の説明文を読ませ、整合性を検討させる。

<マッチング解答例>



・写真毎に、どのアイコンカードを選んだのかをクラス全体でシェアしながら、スリランカでのSDGsに関わる活動についての紹介を英語で行う。

写真の配布



スライドの提示
黒板に写真を貼付し、グループのアイディアを板書する。

展開②

(10分)

5. 写真を用いて、SDGs が北海道のどのような場面に関わるのかを考えさせる。

“Now we’re going to learn how SDGs connect with the world. Let’s think about Hokkaido.”

・北海道の写真（5枚）と、カルタで使ったアイコンカードとマッチングさせる。その後、写真裏面の説明文を読ませ、整合性を検討させる。

<マッチング解答例>



・写真毎に、どのアイコンカードを選んだのかをクラス全体でシェアしながら、北海道でのSDGsに関わる活動についての紹介を英語で行う。

写真の配布



スライドの提示
黒板に写真を貼付し、グループのアイディアを板書する。

<p>まとめ (12分)</p> <p>(3分)</p>	<p>6. スリランカと北海道の例を元に、SDGs と自分たちの日常生活との結びつきを考えさせる。</p> <p>“Now let’s think about yourselves. What is the most familiar SDGs icon for you and what can you do for it?”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全17個のSDGsアイコンから1つ選び、自分がそのためにできることを英語で表現させる。 <p>(e.g.) I choose No. _____.</p> <p>I can _____ for it.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後に、グループ内でシェアさせる。 <p>※時間があれば、グループ代表がクラス全体にシェアさせる。</p> <p>7. 自己評価をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトの設問に答え、感想を記入させる。 	<p>ハンドアウトの配布</p>	
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な開発目標（SDGs）」の必要性について、理解することができる。 <p>（取り組みの観察／自己評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道とスリランカの例を元に、SDGs が世界共通であることを理解し、日常生活との結びつきを考えることができる。（ハンドアウト） 			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p>			

【自己評価】

<p>12. 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スリランカを取り上げる意義 SDGs がメインとなり、題材としての「スリランカ感」が薄かった。1 時間目にスリランカの国や文化紹介など、今回の研修で見聞きしたことを詳しく紹介する時間が取れば、生徒たちのスリランカに対するイメージ作りが容易に進んだと思われる。その点を考えると、3 時間編成が適当であった。 ・SDGs を日常生活と結び付ける方策 SDGs を身近な話題だと認識させるために、北海道や十勝を中心に SDGs に関わる写真を選定した。実際に、「見たことある」「行ったことある」などの声も授業の中で挙がっていた。しかし、その後の活動で SDGs と日常生活を結びつかせる活動の着地点が上手く見出せなかった。この点については、下記の教科性とも連動する部分であるため、より深く吟味すべき点であった。 ・開発教育における「教科」としての目標設定 今回は、開発教育に焦点を当てたため、本指導案ではあまり言及しなかったが、「英語」という教科の性質上、言語目標の設定が欠かせない。今回は、SDGs のアイコンを選ばせ、「自分がその目標のためにできること」を表現させたが、そこに理由を追記させるなど、より良い活用の仕方があったように思える。 また、写真裏面の説明文は、生徒の英語に対する習熟度を考慮し、相応にコントロールした英文を用いた。本単元では、SDGs に対する理解を深めることが主たる目的であったため、複雑な単語や文法は避け、「英語でもなんとなく理解できる」レベルを整えるのに苦勞した。
<p>13. 改善点</p>	<p><実践後のフィードバックを経て、改善した指導案の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の展開①② 授業実践の際は、先にスリランカにおける SDGs を紹介した後、北海道の写真配布し、アイコンとのマッチングを行った。その結果、取り組み紹介に時間がかかり、授業のテンポが間延びしてしまった上、生徒たちの活動時間も短くなってしまった。そのため、本指導案では、せっきくの教材を活用するため、「並べさせる→つながりを見出す→身近なことに落とし込む」という流れを作り出すために、修正を加えたものを記載している。 <その他> ・北海道とスリランカをつながり強調 今回は、スリランカと北海道をそれぞれでマッチングさせた。その他にも、つながりを強調するための方策として、例えばグループワークの際、スリランカグループと北海道グループに分け、それぞれがマッチングした結果をクラス全体で共有する方法も取れたかと推測される。また、ウォームアップで行ったカルタを応用して、①写真のみを配布、②SDGs アイコンのキーワードを聞き取った上で当てはまる写真を取る、③写真裏面の解説文を読んだ上で整合性の確認、④質問を募る、という活動も可能であろう。いずれにせよ、活動手法の精選がより必要である。

<p>14. 成果が出た点</p>	<p><本単元の1時間目における生徒の自己評価></p> <p>①私たちの身の回りにある、地球上の課題を認識することができた。 A：74.1% B：24.5% C：1.4%</p> <p>②「持続可能な開発目標（SDGs）」について、理解することができた。 A：68.2% B：31.1% C：0.7%</p> <p>1時間目の授業では、前単元（普段の授業で使用している教科書の内容）の復習と本単元の主たる目標が概ね達成できたと言える。特に、②については大部分の生徒がSDGsについて知識がない状況だったこととCの評価がごくわずかであったことを考えると、アイコンとキーワードを結び付けるためのマッチング活動は有効だったと言える。しかし、生徒たちは言葉や概要の大まかにつかんだと考えられるものの、内容の理解までには至らなかったと推測できる。</p> <p><本単元の2時間目における生徒の自己評価></p> <p>①「持続可能な開発目標（SDGs）」の必要性について、理解することができた。 A：80.7% B：18.5% C：0.8%</p> <p>②北海道とスリランカの例を元に、SDGsと日常生活との結びつきを考えることができた。 A：78.5% B：21.1% C：0.4%</p> <p>2時間目の授業では、設問に対する自己評価は概ね高かった。しかし、英語の設問に対する理解不足や回答の方向付けが上手くいかなかったため、多くの生徒が「具体的な行動」を書くに至らなかった。そのため、②については数字ほど達成できていないと考える。</p>
<p>15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）</p>	<p>本単元2時間目「まとめ」より、ハンドアウトBの設問における生徒の主な回答</p> <p>No.2：I can make food and eat by myself. No.2：I can make vegetables.</p> <p>No.3：I can have good sleep. No.3：I can play sports.</p> <p>No.4：I can be a teacher.</p> <p>No.5：I can be kind to you.</p> <p>No.6：I can save water. No.6：I can use less water to do something.</p> <p>No.6：I don't waste food, water and electricity.</p> <p>No.6：I can stop washing away dust. (drag)</p> <p>No.7：I can save light. (electricity) No.7：I can sleep early.</p> <p>No.7：I can cut light use.</p> <p>No.10：I can treat people equally.</p> <p>No.12：I can throw away less and separate trash. No.12：I can save food.</p> <p>No.14：I can stop throwing.</p> <p>No.16：I can pray everyday.</p> <p>No.16：I can stop war. (would be a top and change world)</p> <p>※生徒の書いた原文のまま。英語の設問に対する理解不足や回答の方向付けが上手くいかなかったため、多くの生徒が「具体的な行動」を書くに至らなかった。</p>

本単元における生徒の授業の感想（太字は同様の感想複数有り）

- ・SDGsのことをゲームを通して少し知れて楽しかったです。
- ・初めてだったけど、SDGsについて知れて楽しかったです。
- ・今の地球問題を改めて知ることができた。
- ・北海道とスリランカの共通点が多いことを知った。
- ・SDGsという言葉は初めて聞き、世界のために17つの目標があることがわかった。
- ・17個の目標を守るにより地球の環境や人々の暮らしが守れることがわかった。
- ・スライドでわかりやすく整理されていたので頭に入りやすかったです。
- ・私にもできるコトがあるんだなと思った。
- ・色々な問題を抱えていることを知り、自分もできることがたくさんあったのでやってみたい。
- ・一人一人が心がけないと、成し遂げない問題だと感じました。
- ・最初は難しい内容だし、理解できるのか不安だったけどカードを使ったり、わりと手を動かすことが多かったので楽しくできた。
- ・日本がしている活動など知らないことが多くあっておもしろかった！
- ・普段、考えることがない環境問題について、友達とチームワークすることにより、学べたことがたくさんあって勉強になった。
- ・英語で話しているコトが多かったので理解するのが難しかったが面白かった。
- ・なんとなく先生の英語を理解できてよかった。
- ・SDGsなんて聞いたことなかったけど大切なことばかりで勉強になった。
- ・人との、国とのつながりがとても大切なんだと感じた。
- ・いつもと違った雰囲気の授業で、初めは17個の icon の意味がわからなかったけれど、理解することができた。
- ・身近にあるもので考えたら SDGs がたくさんあった。
- ・SDGs は世界の平和を守るためがんばっているから私たちも可能な限りがんばりたい。
- ・楽しかったです。SDGs 大事！
- ・文化は違うけど、SDGs は同じ！！
- ・意外と他国と共通している SDGs があると思った。
- ・スリランカの写真をみて、行ってみたいと思った。
- ・地球の問題を考えることができた機会でした。
- ・日常生活はスリランカと変わらないことが分かった。
- ・日本は水もきれいで飯も美味しいし幸せですな。
- ・神経衰弱やカルタの遊びを交えながらの授業だったので、SDGs のことも知ることで、ためになった。
- ・カルタの裏の分の内容が面白かった。
- ・かるた楽しかった。簡単なキーワードもそれで覚えた。
- ・カラフルで見やすく、楽しくできたのでよかったですと思います。
- ・普通に過ごしていても気づきにくいけど、日本を含め世界がピンチだということを改めて学習できたと思う。
- ・日々の小さなことが SDGs につながっていることがわかった。
- ・SDGs の活動に興味を持った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsは人間が快適に生きていくのに必要なものです。どれも基本的なものですが、できていないので、問題で取り上げられているものだと感じました。 ・なくてはならないものはたくさんあることがとてもわかりました。 ・Enjoy & fun ・I can keep peace!! ・日本が世界に向けて行動していることに感動した。 ・色々な問題に対して、しっかり対策していてすごいと思った。 ・日本とスリランカの違い、共通点をカルタ等を通して知れて良かった。 ・世界では苦しんでいる人がいて、今助け合うことが大切だと思った。 ・今までまったく知らなかった活動について知ることができた。 ・Let's think については英語が苦手なのであまり書けなかった。 ・ちょっと難しかった。 ・もうちょい日本語がほしかった。あまり理解できなかった。
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>まず、今回の教師海外研修や授業実践において、ご協力いただいた方々に感謝を申し上げたい。スリランカ現地研修では、一般的な旅行では決して見ることのできない場所を訪れるなど、現地でしか学べないことが多くあった。また、事前・事後研修や授業実践を通して、開発教育そのものについてや指導案の書き方・考え方など、今までにない多くの学びを得ることができた。</p> <p>授業実践については、産みの苦しみを存分に味わうこととなった。スリランカ現地研修を通して、生徒たちに伝えたい話題は溢れるほど見つけられたが、それらを授業で伝えるには多くの課題があった。特に、教科の中で指導する案を作るために、目標設定や教材作りに非常に苦労した。</p> <p>また、本指導案の提出間際に北海道開発教育ネットワーク（D-net）のセミナーに参加できたことも、大きな刺激となった。完成間近の指導案を再度見直し、整える機会を持てたのは幸運であった。</p> <p>今回の実践が、生徒たちにとって SDGs について学ぶ最初の一步になればと願っている。また、今後も、開発教育の視点を持ちながら、日々の授業実践を行っていきたい。</p>

参考資料：

文部科学省検定済教科書「Grove English Communication I New Edition」（文英堂）

YouTube「SDGs NOW! 17 Goals to Transform Our World」（外務省/MOFA）

YouTube「ピコ太郎×外務省（SDGs）～PPAP～」（外務省/MOFA）

国連 Web サイト「Sustainable Development Goals」

（Retrieved from: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/sustainable-development-goals/>）

(本単元 1 時間目の授業で使用したパワーポイント)

**The Only Solution Left to Us
Is SDGs
-from Otofuke to Sri Lanka-**

Hokkaido Otofuke High School
Communication English II

1

Goals

- To recognize global problems surrounding us.
- To understand Sustainable Development Goals (SDGs) and their necessity.
- To get to know that we have common SDGs between Hokkaido and Sri Lanka.
- To connect SDGs with daily life.

2

Review

In lesson 9...

Part 1 → Population

Part 2 → Food demand

Part 3 → Water use

Part 4 → Radical changes

3

Review

In lesson 10...

Human rights
&
Education

4

Review

Population

Education

Food demand

Human rights

Water use

etc.

5

To solve global problems...

**Global
Problems**

➔

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs

6

SDGs have 17 goals

7

**1
NO
POVERTY**

No
poverty

8





10 REDUCED INEQUALITIES

Equality

17

★



11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

Cities

18

★



12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

Consuming & Producing

19

★



13 CLIMATE ACTION

Climate

20

★



14 LIFE BELOW WATER

Ocean

21

★



15 LIFE ON LAND

Land

22

★




16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS

Peace

23

★



17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

Partnerships

24

★

Let's learn
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS **SDGs** SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
with matching cards

神経衰弱

25

★

Today's review

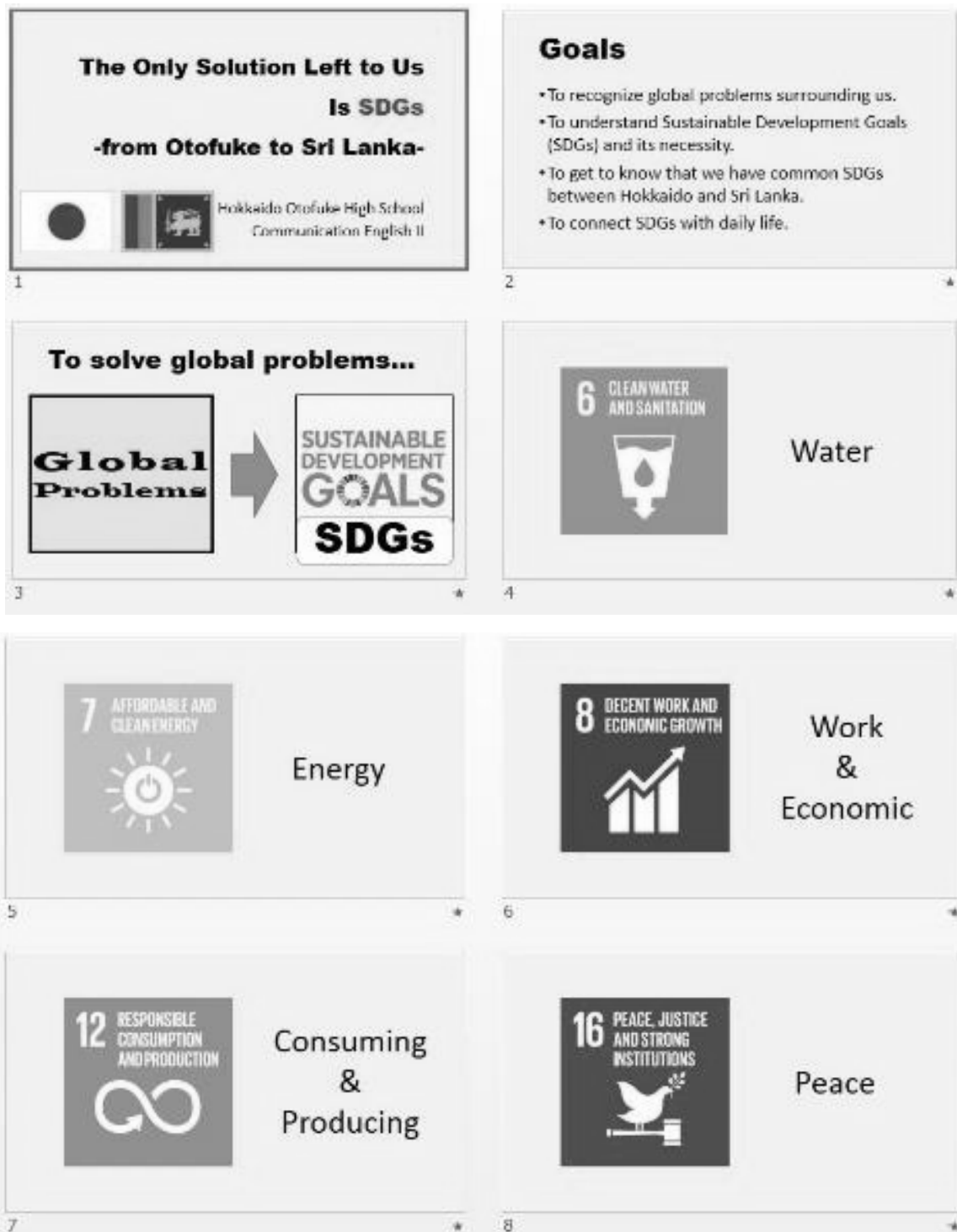


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

26

★

(本単元 2 時間目の授業で使用したパワーポイント)



Let's review SDGs with "karuta"

9

To solve global problems...

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

10



11



12



13



14



15



16

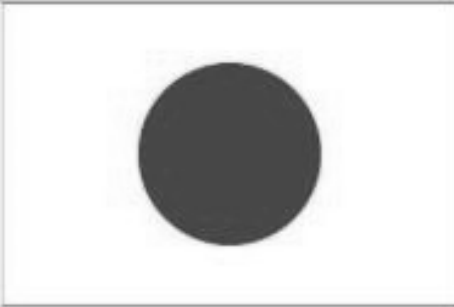


17

What SDGs icon does it match?

•Choose SDGs icon for each pictures.

18



19



20



21



22



23



24

SDGs between Hokkaido and Sri Lanka

We have a lot of commons!

25

Let's think...

Choose one icon of SDGs.
I choose No. _____.

What can you do for the icon?
I can _____.

26

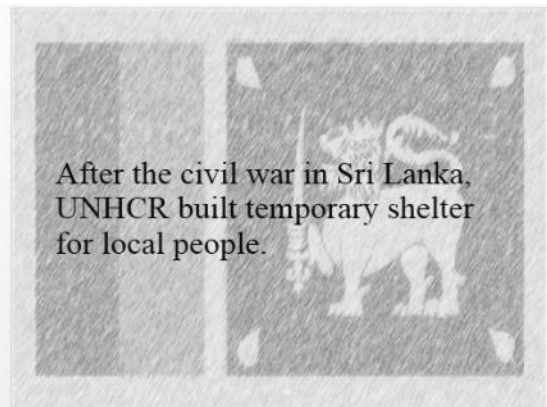
Today's review

27

(本時の授業でを使用したスリランカの写真 表と裏)



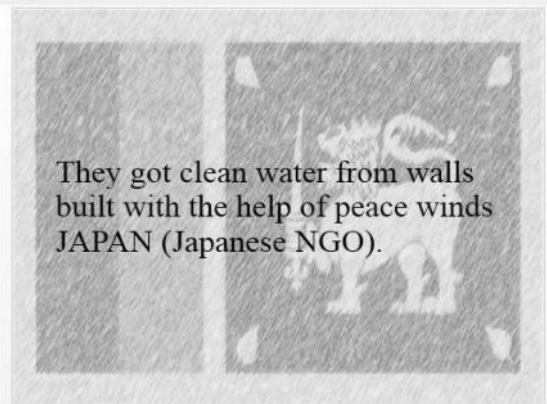
31



32



27



28



23

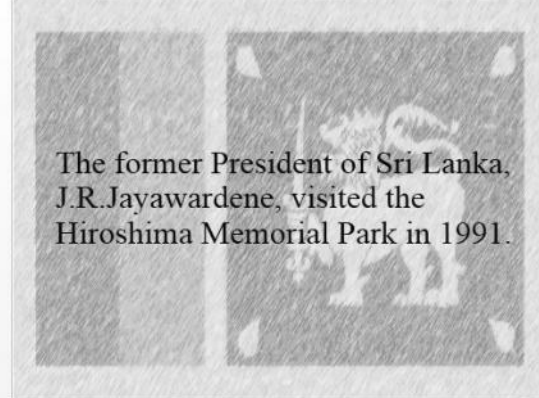


Farmers in Sri Lanka are making less-sugar “milk toffee” for fair-trade with the help of peace winds JAPAN (Japanese NGO).

24



19



The former President of Sri Lanka, J.R.Jayawardene, visited the Hiroshima Memorial Park in 1991.

20



11

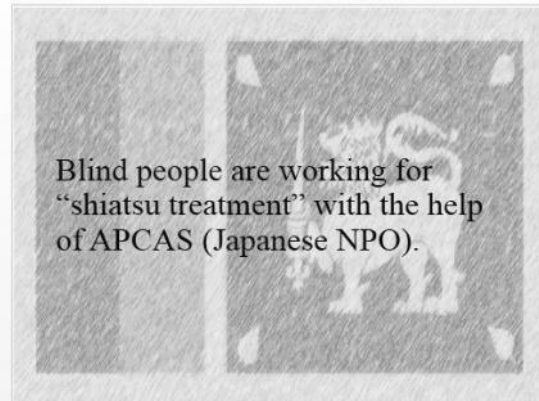


People in Sri Lanka separate waste into some categories.

12



15



Blind people are working for “shiatsu treatment” with the help of APCAS (Japanese NPO).

16



7

People in Sri Lanka is trying to change food waste into compost with the help of Japan.

8



3

Sigiriya, the World Cultural Heritage in Sri Lanka, has a lot of nature like hokkaido. Japan helped its conservation.

4

(本時の授業で使用した北海道の写真 表と裏)



29

After 9.6 in Hokkaido, Atsuma town built temporary housing for local people.

30



25

We can get clean water anywhere at Otofuke High School.

26



21

Tokachi Seika got a Halal license for their sweets products.

22



17

Students in Otofuke High School visited the Hiroshima Memorial Park in 2018.

18



13

Handicapped people are working at Kyujin Farm Memuro.

14



9

We separate waste into some categories at Otofuke High School.

10



5

“Bikkuri Donkey” changes food waste into compost with their own machine. They provide them to farmers.

6



1

Tokachi Millennium Forest has a lot of nature. It was registered as the world most beautiful garden in 2012.

2

<Handout A : 1 時間目に使用>

The Only Solution Left to Us Is SDGs -from Otofuke to Sri Lanka-

Class. _____ No. _____ Name. _____

Today's Goal

- To recognize global problems surrounding us.
- To understand Sustainable Development Goals (SDGs) and their necessity.

Go solve global problems...

それぞれのアイコンについて、キーワードを思い出そう！



() () () () () () () ()



() () () () () () () ()



() () () () () () ()

Self-evaluation

- 私たちの身の回りにある、地球上の課題を認識することができた。 (A • B • C)
- 「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、理解することができた。 (A • B • C)

<Handout B : 2時間目に使用>

The Only Solution Left to Us Is SDGs -from Otofuke to Sri Lanka-

Class. _____ No. _____ Name. _____

Today's Goal

- To get to know that we have common SDGs between Hokkaido and Sri Lanka.
- To connect SDGs with daily life.

Let's think...

What is the most familiar SDGs icon for you? Choose one icon.

I choose no. _____.

What can you do for SDGs which you chose above.

I can _____.



Self-evaluation

- 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の必要性について、理解することができた。 (A ・ B ・ C)
- 北海道とスリランカの例を元に、SDGsと日常生活との結びつきを考えることができた。 (A ・ B ・ C)

全2時間あった授業の感想を簡単をお願いします。